

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

		事業区分	重点	基本計画		
事業名	ユニバーサル都市・福岡の推進				1-1-1	施策コード 再 分野別目標 一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている 施策 ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり 事業群 ユニバーサル都市・福岡の推進 施策成果指標 ユニバーサルデザインの概念の理解度 (H34年度: 70%) ユニバーサルデザインの取組みへの評価 (H34年度: 65%)
所管課	総務企画局企画調整部企画課					
開始年度	平成23年度	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か			
根拠法令	なし		少子高齢化や都市のグローバル化などに伴い、本市に暮らし、訪れる様々な人々の価値観やライフスタイルに対応するまちづくりが求められている。			
行政計画	なし					

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	市民、地域、企業、学校など
	対象をどのような状態にしたいのか	市民等が、ユニバーサルデザインの考え方を理解し、誰もが思いやりを持ち、すべての人にやさしいまちになっている。
事業目的		

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	○ユニバーサル都市・福岡賞2017の実施 ・ユニバーサルデザインの理念に基づく取組みや製品開発等を募集し表彰(応募: 9件, 表彰: 5件) ○ユニバーサル都市・福岡フェスティバル2017の開催 ・フェスティバル期間中に実施する市・NPO等による事業を集中的に広報(14事業、延べ8万人以上が参加) ○公共交通機関等における啓発 ○事業者等との連携 ・外国人向けトイレ用マナーステッカーの作成・配布 ○小学4年生向け副読本の作成・配布 ○市職員向けの研修の実施

事業費(千円)			
平成29年度決算額(見込額)			
	歳出合計	9,003	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	9,003	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H28	H30
	歳出合計	26,568	9,000
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	26,568	9,000

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)		①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
		○ユニバーサル都市・福岡賞の実施 ○ユニバーサル都市・福岡フェスティバルの開催 ○市民等に身近な場所での啓発 ○小学生向け副読本の作成・配布 ○市職員向け研修の実施	○市民等が、ユニバーサル都市・福岡賞に応募する ○市民等がフェスティバルに参加する ○市民等がユニバーサルデザインに触れる ○小学生がユニバーサルデザインについて学ぶ ○市職員がユニバーサルデザインについて理解し、業務に取り入れる	○行政だけでなく、市民・地域、企業、学校などがユニバーサルデザインの大切さについて十分に理解し、具体的な取組みを行っている。	○みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」が実現し、市民の生活の質や市の魅力が向上する。		
	活動の指標	指標の内容	実績		目標		
		ユニバーサル都市・福岡のロゴマークの掲出箇所数	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
			目標	1,000	1,000	800	H32年度
			実績	652	737	800	1,000
	達成率	65.2%	73.7%				
成果の指標(KPI)	指標の内容	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	
	ユニバーサルデザインの概念の理解度	目標	55	55	55	H34年度	
		実績	46.4	48.1	55	70	
		達成率	84.4%	87.5%			
	ユニバーサルデザインの取組みへの評価	目標	45	45	45	H34年度	
		実績	35.8	39	45	65	
		達成率	79.6%	86.7%			

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業名	都心のまちづくりの推進	
所管課	総務企画局企画調整部企画課	背景
開始年度	平成17年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
		事業を始めた理由(きっかけ)は何か 福岡都心部の更なる賑わい創出や魅力向上をおこなう必要性があったため。

基本計画				
施策コード	主	4-6-2		施策成果指標 なし
	再			
分野別目標	人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている			
施策	ストックの活用による地区の価値や魅力の向上			
事業群	エリアマネジメントの推進			

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 都心部
	対象をどのような状態にしたいのか 官民共働により、都心部の魅力や回遊性の向上、美しい景観の形成や安全・安心の空間を創出する。
事業目的	

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 天神地区・博多地区において、地域・企業などが会員となって、魅力的なイベントの実施、回遊性向上や来街者のおもてなし、まちの美化、防犯・防災活動等のまちづくり活動を実施しているエリアマネジメント団体(天神地区: We Love 天神協議会, 博多地区: 博多まちづくり推進協議会)に負担金を支出するとともに、エリアマネジメント団体のまちづくり事業に対し支援を行った。

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
歳出合計	24,101	
歳入	特定財源	9,600
	一般財源	14,501
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H28	H30
歳出合計	24,284	24,180
歳入	特定財源	9,600
	一般財源	14,684

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) エリアマネジメント団体に負担金を支出するとともに、エリアマネジメント団体のまちづくり事業に対し支援を行う。	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) エリアマネジメント団体による、まちづくりイベント、集客促進活動、安全安心・環境向上活動が進む。 また、エリアマネジメント団体の自主財源が確保される。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) 福岡都心部の価値や魅力の向上とエリアマネジメント団体(会員企業)の運営の改善の好循環が生まれる(エリアマネジメント団体の活動が活発になり、福岡市負担金によらず自立的に運営できるようになる)。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) 福岡都心部の価値や魅力が高まり続け、福岡市全体の競争力、集客力を牽引する。			
	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)			
		年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	
	活動の指標	エリアマネジメント団体数	目標	2	2	2	H年度
			実績	2	2	2	-
		達成率	100.0%	100.0%			
	目標				H年度		
	実績						
	達成率						

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業名	グローバルスタートアップ推進事業	
所管課	総務企画局企画調整部	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か スタートアップカフェからの創業が144社を超えるなど、スタートアップの裾野が広がる中、世界で通用するスタートアップを輩出するためには、グローバル展開を見据えた創業や、市内スタートアップと海外の優秀なスタートアップとの交流が可能となる環境の構築が急務。
開始年度	平成28年度	
根拠法令		
行政計画		

基本計画			施策成果指標 新設事業所数 (H34年度目標値:850事業所/年)
施策コード	主 7-1-1		
	再 8-3-1		
分野別目標	創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している		
施策	新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり		
事業群	「グローバル創業都市・福岡」の実現		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	創業間もないスタートアップ企業、創業予定者、その支援者、中小企業の第二創業等
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	グローバル展開を見据えた創業や、海外とのビジネス交流が活発な状態。

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	① 国内外のスタートアップイベントへの参加や福岡市主催イベントの開催 国内外の数多くのスタートアップが集まる世界的に有名なスタートアップイベントへの市内スタートアップの出展支援や、海外での福岡市主催イベント開催による福岡市のビジネス環境のPR等を実施。
	② 海外のスタートアップ拠点との連携 福岡市から海外展開を目指す市内スタートアップ、及び海外から福岡市への進出を図る外国人創業者等を相互に支援するため、グローバルなネットワークを構築。
	③ 海外派遣研修プログラムの実施 福岡市内の起業家やその候補者などを対象に、海外展開を意識した創業や海外ビジネスを実現させるため、サンフランシスコ・シリコンバレーへの海外派遣研修プログラムを実施。
	④ グローバルスタートアップセンター(相談窓口)の設置 福岡市内スタートアップの海外展開や、海外スタートアップの福岡市進出の相談対応、ビジネスマッチング支援を行う窓口を設置した。
	⑤ WEBやメールマガジン等による福岡市施策等の海外向け情報発信 海外のスタートアップや投資家等に向け、福岡市施策や市内スタートアップに関する情報を、WEB、SNS、メールマガジンによる情報発信を行った。

事業費(千円)			
平成29年度決算額(見込額)			
	歳出合計	78,597	
歳入	特定財源	453	
	一般財源	78,144	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H28	H30
	歳出合計	52,803	89,149
歳入	特定財源	377	1,030
	一般財源	52,426	88,119

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)			
	① 国内外のスタートアップイベントへの参加や福岡市主催イベントの開催 ② 海外のスタートアップ拠点との連携 ③ 海外派遣研修プログラムの実施 ④ グローバルスタートアップセンター(相談窓口)の設置 ⑤ WEBやメールマガジン等による福岡市施策等の海外向け情報発信	① 国内外21つのイベントに参加、7回の主催イベントを開催 ② 海外10箇所のスタートアップ拠点との連携を実現 ③ 市内スタートアップやその候補者など293名が研修プログラムに参加 ④ グローバルスタートアップセンターへ月平均約110件の相談あり。 ⑤ 海外のスタートアップや投資家等に福岡市施策や市内スタートアップのPRが行える。	・グローバル展開を見据えた創業機運の高まり ・市内スタートアップによる海外とのビジネス交流活発化	・世界で通用する市内発スタートアップ企業の輩出や、海外スタートアップの先進的な技術/サービスの取り込みによる既存企業の課題解決/事業拡大が図られ、都市の成長が促進される			
	指標の内容	実績		目標			
	活動の指標	スタートアップイベント開催/参加件数	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
			目標	4	4	4	H32年度
実績		10	11	4	100		
達成率		250.0%	275.0%				
海外スタートアップ拠点との連携数(延べ)	目標	3	10	12	H32年度		
	実績	7	10		15		
	達成率	233.3%	100.0%				
成果の指標(KPI)	指標の内容	実績		目標			
	市内スタートアップの海外商談件数	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	
		目標	100	100	100	H32年度	
		実績	100	856		100	
		達成率	100.0%	856.0%			
目標				H年度			
実績							
達成率							

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業区分		重点
事業名	農山漁村地域など市街化調整区域の活性化	
所管課	総務企画局企画調整部企画課	基本計画 施策コード 主 4-4-3 再 分野別目標 人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている 施策 まちと自然が調和した福岡型のコンパクトな都市づくり 事業群 農山漁村地域など市街化調整区域の活性化 施策成果指標 なし
開始年度	平成27年度	
根拠法令	なし	
行政計画	福岡市第9次基本計画	
背景		
事業を始めた理由(きっかけ)は何か 農山漁村地域など市街化調整区域は、自然とまちの調和がとれたコンパクトな都市を形成するうえで大変重要な役割を担っているが、人口減少や高齢化の進展等に伴い、農林水産業の振興やコミュニティの維持など様々な課題を抱えており、活性化の取組みが必要となっている。		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 農山漁村地域など市街化調整区域
	対象をどのような状態にしたいのか ・地域において活性化に向けた取組みが進められている。 ・農山漁村地域でのビジネス展開について、事業者からの相談・提案などが行われている。 ・地域住民と事業者のネットワークが生まれ、事業化に向けたマッチングが行われている。
事業目的	

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ①地域主体のまちづくり活動の支援 関係部局が連携し、地域の活性化に向けた具体的な活動(産直市など)の支援を行った。 ②地域対話の実施 地域対話を通じて、民間施設の受け入れ意向を確認し、あわせて施設イメージの共有を図った。 ③事業者へのヒアリング等 規制緩和の制度内容や地域の魅力について情報提供を行い、民間事業者の需要喚起を行った。 ④情報発信の強化 農山漁村地域など市街化調整区域に関する情報を一元化する特設ホームページを作成し、情報発信の強化を図った。

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
歳出合計		9,942
歳入	特定財源	0
	一般財源	9,942
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	H28	H30
歳出合計	8,343	7,400
歳入	特定財源	0
	一般財源	8,343

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・地域主体のまちづくり活動の支援 ・地域対話の実施 ・事業者へのヒアリング等 ・情報発信の強化	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・地域住民の活性化に向けた意欲、民間事業者の受け入れ機運が向上する。 ・事業者からの対象地域への関心が高まる。 ・地域住民と事業者が繋がる機会が生まれる。	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・地域において活性化に向けた取組みが進められている。 ・農山漁村地域でのビジネス展開について、事業者からの相談・提案などが行われている。 ・地域住民と事業者のネットワークが生まれ、事業化に向けたマッチングが行われている。	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・地域資源を活かした新たなビジネスが生まれ、農林水産業や観光業の振興など、地域の活性化が図られる。 ・新たなビジネスが地域の雇用を生み、定住人口が増加する。																																																																								
	活動の指標	成果の指標(KPI)																																																																										
	指標の内容	指標の内容																																																																										
	地域において実施される会合等への参加件数	地域と事業者のマッチング支援数																																																																										
	事業者ヒアリング等の実施	制度活用による施設立地申請の件数																																																																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">200.0%</td> <td style="text-align: center;">250.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">99</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	実績		目標		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	目標	6	6	7	H 年度	実績	12	15	-	達成率	200.0%	250.0%			目標	-	-	30	H 年度	実績	-	99	-	達成率	-	-			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">400.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> <td style="text-align: center;">300.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	実績		目標		H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	目標	-	1	3	H 年度	実績	1	4	-	達成率	-	400.0%			目標	1	1	1	H 年度	実績	1	3	-	達成率	100.0%	300.0%		
年度	実績		目標																																																																									
	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																																								
目標	6	6	7	H 年度																																																																								
実績	12	15		-																																																																								
達成率	200.0%	250.0%																																																																										
目標	-	-	30	H 年度																																																																								
実績	-	99		-																																																																								
達成率	-	-																																																																										
年度	実績		目標																																																																									
	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																																								
目標	-	1	3	H 年度																																																																								
実績	1	4		-																																																																								
達成率	-	400.0%																																																																										
目標	1	1	1	H 年度																																																																								
実績	1	3		-																																																																								
達成率	100.0%	300.0%																																																																										

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業名	産学官民連携による国際競争力強化		事業区分	重点	
所管課	総務企画局企画調整部企画課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か アジアと日本の玄関口であり、暮らしの質の高さが世界から評価されている福岡であるが、今後は人口減少などにより経済成長が衰退する見込みがある。今後福岡の活力を維持強化していくためには、産学官民が一体となって、国際競争力を高め、地域経済をグローバル化することで、アジアの内需を取り込んでいく必要がある。	基本計画		
開始年度	平成23年度		施策コード	主 6-1-1 再	施策成果指標 なし
根拠法令	なし		分野別目標	経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている	
行政計画	なし		施策	産学官連携による、知識創造型産業の振興	
		事業群	知識創造型産業の振興		

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	福岡都市圏内外の産学官民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	産学官民が一体となって、策定した地域戦略を推進することで、国際競争力を備えたアジアで最も持続可能な地域となっている。

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	産学官民が一体となり設立された福岡地域戦略推進協議会(FDC)において、国際競争力強化に資する成長戦略を推進するため、4部会(観光、スマートシティ、食、都市再生)を設置し、九州ドローンコンソーシアム等の推進などプロジェクトの検討・事業化に取り組んだ。

事業費(千円)		
平成29年度決算額(見込額)		
歳出合計		35,000
歳入	特定財源	0
	一般財源	35,000
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	H28 H30
歳出合計	39,400	35,000
歳入	特定財源	0 0
	一般財源	39,400 35,000

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																																									
	・福岡地域戦略協議会が策定した地域戦略を推進するために、4つの部会ごとにプロジェクトを検討する。 ・イベントや情報発信を通じて、市民との共有を重視しながら戦略を推進していく。	・4部会が核となり、コンソーシアムや事業体が組成されプロジェクトが進められる。 ・市民との共有が実現することにより戦略がより推進される。	次々とプロジェクトが生まだされることで、域内外から人と投資が呼び込まれ、成長戦略目標が達成される。	福岡都市圏が東アジアのビジネスハブとして、日本・中国・韓国・台湾などのビジネス交流拠点となり、多様な人材が訪れ、働き、暮らす、国際競争力を備えたアジアで最も持続可能な地域となっている。																																																																																									
	活動の指標	実績	目標	実績	目標																																																																																								
	部会などによるプロジェクトの創出支援	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>継続</td> <td>継続</td> <td>継続</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>継続</td> </tr> </table>	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	目標	継続	継続	継続	H32年度	実績				継続	達成率				継続	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	目標				H年度	実績					達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>増加</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td>増加</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>増加</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td>増加</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>増加</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td>増加</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	目標	-	-	増加	H32年度	実績			増加	2.8	達成率					目標	-	-	増加	H32年度	実績			増加	6.0	達成率					目標	-	-	増加	H32年度	実績			増加	7.0	達成率			
年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																																																									
目標	継続	継続	継続	H32年度																																																																																									
実績				継続																																																																																									
達成率				継続																																																																																									
年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																																																									
目標				H年度																																																																																									
実績																																																																																													
達成率																																																																																													
年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度																																																																																									
目標	-	-	増加	H32年度																																																																																									
実績			増加	2.8																																																																																									
達成率																																																																																													
目標	-	-	増加	H32年度																																																																																									
実績			増加	6.0																																																																																									
達成率																																																																																													
目標	-	-	増加	H32年度																																																																																									
実績			増加	7.0																																																																																									
達成率																																																																																													

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

								事業区分	重点	
事業名	留学生支援・ネットワーク構築事業									
所管課	国際政策課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か							
開始年度	昭和63年度		地域の競争力を強化し活性化を図るうえで、地域やわが国を支える人材として、また、世界で活躍できる高度人材、あるいは出身国と福岡との橋渡しをする人材として、留学生が重要な存在となっている。そこで、優秀な留学生の本市への集積を促進するとともに、本市留学生経験者を含め、地域における活用を図る必要があったため。							
根拠法令	なし									
行政計画	なし									
		基本計画			画					
施策コード	主	8-5-1		施策成果指標	就労目的の在留資格を持つ外国人の数 (H34年度目標値:4,000人)					
分野別目標	再									
施策	グローバル人材の育成と活躍の場づくり									
事業群	グローバル人材の育成・集積									

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	事業費(千円)			
	留学生・既卒留学生 帰国した留学生 日本人大学生 市民 地元企業	<p>○留学生奨学金事業の見直し 新たに大学、経済界と協力・連携しながら、優秀な留学生の戦略的な「呼び込み」と「就職支援」「定着促進」を行う奨学金の平成30年度創設に向け、福岡市レインボー留学生奨学金の見直しを行った。</p> <p>○既卒留学生を対象とした有償の長期就業体験(インターンシップ)事業 在留資格の規制緩和を活用し、福岡での就職を希望する既卒留学生を留学生採用を希望する地元企業に派遣する採用試験を兼ねたインターンシップ事業を実施し、留学生の地元企業への就職を支援した。</p> <p>○留学生実態調査の実施 福岡市の留学生施策の効果検証と課題の洗い出しを行った。</p> <p>○スタートアップ奨学金事業 日本人大学生の海外留学と地元での創業・就職の実現に向けた支援を実施し、地元定着と地域経済の活性化を促進した。</p> <p>○産学官が連携して留学生の育成と活用・定着を促進するグローバルコミュニティFUKUOKA推進プラットフォームの運営</p> <p>○経済界、大学、県などと構成する「福岡県留学生サポートセンター」における海外リクルート活動や就職支援の実施</p> <p>○GCF公式Facebookページを活用した、福岡市への留学経験者を含む留学生とのネットワークの強化・拡充の実施</p>	平成29年度決算額(見込額)			
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか	実施内容(手段)	前年度決算額・翌年度予算額			
	留学生をグローバル人材として育成し、活用・定着を促進するとともに、福岡ゆかりのグローバル人材のネットワークの強化・拡大を図り、「グローバル人材が集い・活躍するまち」をめざしていくことで、都市としての国際競争力において優位性を発揮し、都市間競争に打ち勝っていく。		年度		H28	H30
			歳出合計		21,968	12,852
			歳入		2,789	0
			特定財源		2,789	0
			一般財源		19,179	12,852

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)			
	<ul style="list-style-type: none"> 留学生奨学金事業を行う。 留学生と市民の交流を促進する。 留学生・既卒留学生の地元企業への就職を支援する。 福岡県留学生サポートセンターを通じ、海外広報、就職支援を行う。 福岡市への留学経験者を含む留学生とのネットワークの構築を行う。 日本人大学生の留学を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 奨学金を受給する留学生の生活が安定する。 留学生に対する市民の理解と協力を得られる。 留学先に福岡市を選択する留学生が増加する。 留学生奨学金事業により、優秀な留学生の呼び込みと、地元企業への就職、地元定着が進む。 帰国した留学生とのネットワークを維持できる。 日本人大学生がグローバル人材として育成される。 	<ul style="list-style-type: none"> 福岡市への留学経験者が、福岡市に対して好意的な、良き理解者となる。 福岡市で就職する留学生が増加する。 地域での留学生の人材活用を行うことができる。 日本人大学生がグローバル人材として福岡市で就職または創業する。 	<ul style="list-style-type: none"> 産学官がグローバル人材として留学生を活用し、定着した優秀な人材が福岡市で活躍している。 福岡市がグローバル人材の結節点として機能する。 福岡市が「グローバル人材が集い・活躍するまち」となっている。 			
	活動の指標	指標の内容	実績		目標		
	福岡市内の大学・短大に在籍する留学生数		年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度
			目標	4,079	3,854	—	H32年度
		実績	3,294	3,397	4,109	—	
		達成率	80.8%	88.1%	—	—	
		実績		目標			
就労目的の在留資格をもつ外国人の数		年度	H28年度	H29年度	H30年度	最終年度	
		目標	3,200	—	—	H32年度	
		実績	4,330	4,855	—	—	
		達成率	135.3%	—	—	—	

事務事業マネジメントシート（平成29年度実施分）

事業名	ビジネス展開に向けた国際貢献・国際協力の推進	
所管課	アジア連携課 国際協力課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か アジアの諸都市は、急激な経済成長に伴う都市問題に直面している。一方、福岡市は、「住み良いまちづくり」のノウハウを持っているため、都市問題解決に寄与することにより、国際貢献・協力を図るもの。
開始年度	平成24年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	

基本計画		施策成果指標
施策コード	主 8-6-1 再	
分野別目標	国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている	
施策	アジアの諸都市などへの国際貢献・国際協力の推進	
事業群	ビジネス展開に向けた国際貢献・国際協力の推進	
		視察・研修受入人数 (H34年度目標値:1,700人)

【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 海外の諸都市
	対象をどのような状態にしたいのか 海外からの研修生受入れや職員の海外派遣による国際貢献・国際協力を推進する。これらの取組みにより、福岡市の知名度や存在感を向上させるとともに、海外諸都市との関係を構築し、官民連携したビジネス展開をめざすもの。
事業目的	

実施内容(手段)	平成29年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ＜○国際貢献・ビジネス展開 ●国際研修・視察受入＞ ○国際ビジネス展開プラットフォーム(PF)会員企業と展示会(マンマー)に共同出展(H29.10) ○ヤンゴン市との姉妹都市経済交流イベントにPF会員企業が参加(H29.9於福岡市, H29.10於ヤンゴン市) ○福岡市独自でヤンゴン市へ技術職員を2年間の長期派遣実施(H29.2～, 継続) ○(クリア)自治体職員協力交流事業(ヤンゴン市職員受入) ○大使館、JICAなど国際協力に係る関係機関等との協議・連携強化 ○PF会員企業のJICA中小企業支援メニュー採択支援 ○水道・下水道・環境などの分野における、JICA事業等による技術職員派遣(技術協力)(担当局にて実施) ●海外からの視察・研修生受入

事業費(千円)			
平成29年度決算額(見込額)			
歳出合計		31,276	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	31,276	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	H28	H30
歳出合計		29,746	45,018
歳入	特定財源	0	0
	一般財源	29,746	45,018

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか)	
	○国際貢献・ビジネス展開 ・「国際ビジネス展開プラットフォーム(PF)」の運営 ・関係分野におけるJICA事業等による技術協力 ・関係構築が進んだ地域を対象とした海外ビジネス展開活動 ・海外への職員派遣継続, 及び海外諸都市の情報収集 ●国際視察・研修受入 ・国際会議, 国際機関等を通じた視察・研修受入事業の広報活動 ・視察・研修受入による海外諸都市の情報収集及びニーズ把握	○国際貢献・ビジネス展開 ・PF会員企業と相手地域とのビジネスマッチング ・技術協力相手国との関係強化 ・JICA等関連機関との関係強化 ・ODA案件受注に向けたノウハウの蓄積 ●国際視察・研修受入 ・海外諸都市からの視察・研修の申し込みが増加 ・海外諸都市のニーズに沿った視察・研修の実施	○国際貢献・ビジネス展開 ・ODA等の案件形成 ・PF会員企業の海外展開案件形成 ●国際視察・研修受入 ・視察・研修受入人数の増加 ・福岡市の「住み良いまちづくり」のノウハウが海外諸都市の都市問題解決に寄与している	○国際貢献・ビジネス展開 ・官民連携した海外ビジネス展開 →ODA案件の獲得等による地場企業のビジネス機会の創出 ●国際視察・研修受入 ・福岡市の「住み良いまちづくり」のノウハウを活かした国際貢献・国際協力の取組みにより、福岡市の国際的な知名度や存在感が向上している。	
	指標の内容	実績	目標	実績	目標
	福岡市国際プラットフォーム会員企業との連携活動件数(単年)	年度 H28年度 H29年度 H30年度 最終年度	年度 H28年度 H29年度 H30年度 最終年度	年度 H28年度 H29年度 H30年度 最終年度	年度 H28年度 H29年度 H30年度 最終年度
	国際会議・国際機関等を通じた広報活動件数	年度 H28年度 H29年度 H30年度 最終年度	年度 H28年度 H29年度 H30年度 最終年度	年度 H28年度 H29年度 H30年度 最終年度	年度 H28年度 H29年度 H30年度 最終年度